

【今月のトピック】◆水質浄化システム設置例（その2：凍結設備の冷却塔）

今回は、マイナス50度での凍結設備の冷却塔に、水質浄化システムをご設置頂きました事例をご紹介します。以前より、月1度の冷却塔充填材の高圧洗浄と定期的な配管洗浄を実施されているお客様で、凍結設備の温度管理にとっても気を遣われておられました。水質浄化システム設置直前に上記洗浄をされたばかりでしたが、電力計測計にて消費電力量を計測し、計測データ及び凍結設備の使用頻度、外気温等のデータと合わせて効果を検証してまいります。水質を改善し洗浄コストを減らすと同時に、電力コストの削減に繋がることと確信しております。結果は数ヶ月後に水質測定データと共にこの紙面にてご報告致す予定です。今号では設置1ヶ月目の状況をご紹介します。



1ヶ月毎の点検時に、水質測定を行い、水質浄化システム設置による水質の変化を確認しております。



●錆のテストピース



●冷却塔下部水槽



1ヶ月経過

1ヶ月経過



測定・計測

冷凍機のブローカーに電力計測装置を接続させて頂き、消費電力の変化を調査しております。



↑テストピースでは「赤錆が黒く変化して鉄の表面の腐食が止まった」状態が見られました。もし冷却水配管に錆が発生していた場合、この不動態が形成され赤錆の進行が止まり、配管の対応年数が延びます。



↑1ヶ月後下部水槽の全体に泡が発生。これはお客様が点検数日前に行われた清掃作業で有機物が剥がれて、洗浄システムによる界面活性性の高い冷却水が溶解している過渡的な現象です。具体的には冬の日本海で見られる「波の花」現象です。

【寒い冬でも指先暖か！のエコグッズ】

外出する時、着込んでいても指先は冷たいですよね。カイロを使えば暖かいけれど、使い捨てはもったいないと思いませんか？そこで今回は『エコカイロ』をご紹介します！エコカイロはジェル状の液体と金属片が入ったパックで、金属片に押したり曲げたり衝撃を与えると液体が凝固化し始めます。その過程で熱を放出させ、温かさは40～50度くらい。熱は1時間ほど持続します。中身が凝固しきったカイロは沸騰したお湯に数分間付けると液状に戻り、また使用可能になります。「ちょっとそこまで」という時に便利ですし、沸騰させたお湯を湯たんぽに利用すれば一石二鳥♪

【お知らせ】

神奈川ナブコではこれまで以上に地域の皆様に密着し、省エネ・コスト削減など環境関連業務を積極的にご提案させて頂きます。また、お客様からのご要望に対しても積極的に対応できる体制が整っていますので、お気軽に担当者までお申し付け下さい。

【編集後記】

今月で2011年も終わりですね。皆様この1年は如何でしたか？やり残した事はありませんか？今年の大掃除はエコを意識しつつ、無駄なく綺麗に片付けをして、気持ち良く新年を迎えたいと思います!!

